

三一 受信開始〇八四二 譯了〇九〇一 電〇〇一二九 作 概

作戰特別緊急

硫黃島航空基地

第七基地航空部隊作戰命令着信艦所

作

機密第〇一〇六五五番電

一、友軍機敵艦船攻撃視認狀況〇二三五〇度方向ニ火柱二約一分間
炎上スルヲ認ム

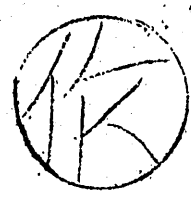
二、友軍ノ空中攻撃ニ依リ敵ハ海上陸上共ニ煙幕ヲ展張艦砲陸上砲
共射撃ヲ中止我斬込及夜間作業ノ好機トナルヲ以テ極力毎日續
行サレ度。

通一二三 於一四(一〇二〇〇K)父通 清水(猪狩)

20 3 1

195

三 一 受信一〇五〇 譯了一二五五 電 〇〇〇二二二五 作 概



● 香取航空基地・父根戰鬪概報着信艦所
● 六〇一航空隊

機密第〇一〇九一三番電 二分ノ二二

戰鬪概報(二月二十八日)

一 一三三八B一二四 七機來襲西南部山中ニ數十發投彈一七〇五ヨリ

約二時間E六E二機島外周ヲ旋回日没以後延數次ニ亘リ侵入飛行

場航空隊及二見灣瀧之浦灣沿岸ヲ銃爆撃ス一九一〇ヨリ一日〇四三

〇迄大型單機ニテ八回來襲主トシテ飛行場周邊及特別根據地隊本部

一帯ヲ盲爆

ニ戰果ナシ

受信了
受信了

0574

道一五〇 日一B分五(一〇二〇〇E) 父 野佐藤 (志田)

20. 3. 2.

三、被害員傷一名飛行場被彈アルモ主滑走路ニ異状ナシ
 四、最近敵ハ日没前後ノ約二時間ハ夜戦數機ヲ以テ我飛行場使用妨害
 ヲ企圖シアリ
 五、彗星ノ薄暮攻撃ハ發進直前發見セル不良發火栓交換ノ爲再ビ發進ノ
 機ヲ失セリ。

爾後日出前迄ハ大型電機ニテ

197

三二
至急

受信開始一七三〇

譯了二一〇〇

電自〇〇一一二九六

作訓



横 俱・第三航空陸隊

大海參一部。聯合陸隊口。父根

機密第〇一〇九三六番

四分ノ一、二、三、四

一、工員ハ指導宜シキヲ得レバ軍人ニ比シ塵モ劣ラズ其ノ戦力極メテ大
ナリ、當基地ニ於ケル工員ハ設營兵裝隊航空兵器修理隊合計約一
六〇〇名ニシテ昭和十九年十月以降各地區陸隊ニ編入本務ノ傍常
時陸隊訓、練及陸地構築ヲ實施シアリタル處今次ノ戦闘トナルヤ續
々ト切込ミ肉攻ニ参加スル外陸地隊ニ於テモ克ク勇猛果敢築高ナル
戰術的精神ヲ發揮セリ

通九一三、九五四
通一〇七四、一〇九八

呂一B (三九一五K) 木、硫黃島

内山、野木 (吉田)

20. 3. 31

元山地區陸戰隊二隊ノ大多數半島人ヲ以テ編制シアリタルモ最モ勇敢晝夜共ニ白兵ヲ以テ敵ヲ擊退指揮官ノ下ニ同地ヲ死守スルノ統制アル戰團ヲ實施シツツアリ陸海軍絶讚的是幹部ノ部下指導宜シキヲ得タルト共ニ工員ヲ以テ編制セル陸戰隊ニ平素ヨリ中隊ニ一名宛陸戰專修少尉(硫黃島警備隊附ヲ轉用)ヲ配屬指揮官附トシテ戰團準備及訓練ニ任ゼシメタル等ニ依ルコトニ與ツテアリタルモノト認ム

ニ海軍部隊ニ有能ナル陸軍將校ヲ常時輔佐官トシテ配屬スルハ戰力發揮及協同作戰實施上極メテ有效當基地ニ於テハ昨^{昭和}十九年十月陸海協同ノ下ニ計畫スル數件 海軍各地區隊(陸戰隊)防空隊平射砲臺共)ヲシテ陸軍管該地區隊ト密ニ連絡セシメ陸戰訓練及陸地ノ終始構築等殆ソド陸軍將校ヲシテ指導實施セシムルト共ニ今次戰團ニ於テハ其ノ儘指揮官附トシテ輔佐セシメタリ

尙輔佐官ハ玉名山地區ハ大隊長級其ノ他ノ地區ハ中隊長級ナリ當基地ニ於ケル各隊ガ進出當時壕ノ裝甲及砲臺威力ニ對スル認識不充分ノ爲厚サ數米ノモノヲ防備シタルモ時日ノ經過ト共ニ其ノ薄弱ナルニ氣付キ狀況逼迫作戰準備愈多忙トナリタル後ニ於テ再掘セルモノアリタリ。

休

緊急

三
一
受信 一一三〇七
了 一三一五 電 〇〇二四一
作 概

七基地航空部隊戦闘概報着信艦所

局長	一課長	二課長	三課長	四課長	五課長	六課長	七課長
局長	一課長	二課長	三課長	四課長	五課長	六課長	七課長
局長	一課長	二課長	三課長	四課長	五課長	六課長	七課長
局長	一課長	二課長	三課長	四課長	五課長	六課長	七課長
局長	一課長	二課長	三課長	四課長	五課長	六課長	七課長
局長	一課長	二課長	三課長	四課長	五課長	六課長	七課長
局長	一課長	二課長	三課長	四課長	五課長	六課長	七課長
局長	一課長	二課長	三課長	四課長	五課長	六課長	七課長

E-1 A B 戦闘概報第一二二號 (E)

一 攻七〇四陣攻四機硫黄島附近敵艦船攻撃ノ爲二一〇〇發進内三機〇
一五〇ヨリ〇二〇五ノ間ニ敵輕巡交ハ駆逐艦ニ對シ雷撃效果不明〇八

〇五迄ニ三機歸還一機未歸還被彈二機

硫黄島ヨリノ視認狀況ニ依レバ〇二二五 〇度方向ニ火柱二約二〇
分間炎上ズルヲ認ム右ハ未歸還機ノ攻撃狀況ト認ム。

通二七〇 呂一Bケ五 (R) 木更津 澤 (木) 下

20. 3. 1

200

三 受信一九一〇〇 譯了二〇一五 電〇〇六〇七
至 急 譯始一九一〇〇 共 符 航作概本〇



横 通・父根下・七基地航空部隊口・1? 大海参一部・東 通

機密第〇一一〇一五番電 二分ノ一

發 母島警司令

宛 三A F 参謀長・七五二空・三二五空

受報者 海上護衛参謀長

昨二十八日一八〇〇ヨリ一日〇四〇〇間ノ母島周邊ニ對スル敵ノ哨戒
行動ハ漸續的ニ一八〇〇ヨリ二四〇〇ニ亘リ北上五機南下八機一日〇
〇〇〇ヨリ〇四〇〇ニ亘リ北上一一機南下一四機ニシテ小笠原諸島ヲ
通過シテ硫黄島ノ敵ヲ。

「電信課註 本電二分ノ二未着」

通三一八

呂一四ヶ五 (B) 横須賀

斎藤 (酒卷)

0890

受信始 255
2890
3 2890

0679
作概
航本

三一 受信一八三五〇
二 譯了〇八三〇 電〇〇六七九
航作 本概〇

至 急 符 共



父根、横通、七五二航空隊、七基地航空部隊、
大海參一部、東通

機密第〇一〇一五番 二分ノ二

發 母島警備隊司令

攻撃ニ行ク我航空部隊ニ對シ嚴重ニ警戒シツツアリ當隊ハ空襲警報ノ連
續ニシテ内一機海中ニ爆彈五發投下シタルモノアリ六日二〇〇〇頃母島
ノ三百度約二萬米ノ海上ヨリ敵機ニ對シ潜水艦ヨリト覺シキ信號彈二發
打上タリ。

（電信課註 本電二分ノ一既配布）

通三二九 呂一Bケ五（B）横通 内田（新井）

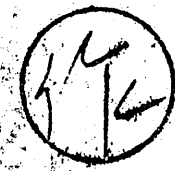
202

20. 3. 2-

三二 受信 一三一九 電 〇〇七八一
開始 一二〇〇 〇〇七八二
〇〇七八三 作 概

緊急 硫 黃 島 空 基 地

七聯合基地航空部隊 圖 概 報 着 信 艦 所



機密 第 〇 一 一 四 一 七 番 電 三 分 一 六 三 三

B二A B 戰團 概 報 第 一 八 五 號 (三月一日) 其ノ一

一、吉二〇〇頃ノ戰線ハ南波止場上三段岩古山及一文字山ノ線ニ彼我激

戰中ナリ二段岩一文字山方面ノ戰鬪特ニ熾烈ナリ

二、一三〇〇頃敵約七〇古妃部落附近ニ約三〇名三軒家附近ニ侵入又

發飛行艇四機庚申塚附近ヲ北進中ニシテ我ハ之ト交戰中ナリ

三、敵ハ第一飛行場西端附近ニ數門ノ重砲陣地ヲ構築中ナリ

四、敵ノ砲銃爆撃熾烈

五、戰果被害

通 九九〇五 呂一B分四(七五〇五)KO

九三〇一

横 通 木更津空基地 田中、清野、菅原(久保田)

20. 3. 3-

208

(1) 〇二三五零廢方向ニ陸攻ノ攻撃ト認メラルル火柱四本ヲ認ム

(2) 二十七日夜玉山地區陸隊選出切込隊ニ依ル戰果人員殺傷一十二

〇以上

(3) 二十七日元山地區陸隊ニ依ル戰果人員殺傷二〇〇以上

(4) 其ノ他調査中

六本日前ノ敵艦視認狀況

戰艦二隻巡洋艦十一隻驅逐艦七隻輸送船五三隻掃海艇九隻上陸用舟

艇三隻

205

0584

受候 1210
初始 1900
初了 2010
電 00575
作概
航

作戰緊急

三 一 受信一九八〇〇
譯了二〇一〇 電〇〇五七五
航作 本概〇

作

機密

機密第一六一一番電

木更津航空基地

硫黃島關東方面基地間飛行機通報着信艦所

發 第七五二航空隊司令

第七基地航空部隊電令作第七二號ニ依ル硫黃島附近艦船攻撃ヲ左ニ依

リ實施ス

一 第一次陸攻二機二〇〇〇木更津基地發進雷爆各一機一爆裝被陸上攻

擊スルコトナシ

二 第二次第三次陸攻各一機雷裝二一〇〇・二二〇〇發進

三 攻撃豫定時刻〇一〇〇・〇二〇〇・〇三〇〇

四 父島又ハ母島ヲ確認進撃ス

五 使用電波五二九〇KG一四六二二、五

通五一四 呂一Bケ四一七二六〇KG
木更津航空基地 石川(横田)

三 一 受信一七〇五 譯了一七一七 電〇〇三八九
譯始一七一三 航本 概〇

作戰緊急

傍

硫黃島、香取各航空基地・三航空隊隊口

機密第〇一一六一九番電

彗星一機硫黃島攻撃ノ爲發進 一六〇五。

通四九〇 於一四 (KC) カニヶ谷 櫻井 (新井)

90. 3. 2

207

硫

入

三二 受信 〇八三七 譯了 〇九〇七 電 〇〇六七 一 譯 通
至 急 父 通

● 横領・三航空艦隊P・硫黄島空基地

機密 第 〇二〇七三三番 電

硫黄島敵電艦左ヲ傍受ス

一日二二三五空襲警報發令

二日〇二四〇不明艦所救助ヲ要ス直ニ全力救助セヨ

〇二五〇不明艦所敵彈ヲ被リ後部ヨリ沈没シツツアリ。

通 八七九 才十四 (一〇二〇〇KC) 父通 渡(木 下)

20. 3. 2

208

8890

三

本島海軍部現任員三三五三名

一時副通最近ノ便ニテ送付願度

聯合現在員 主食四ヶ月半 副食二箇月。

210

原

三
二
至 急

受信一七〇〇七

譯了一八二〇

電〇〇一一〇〇三

作 訓

硫黃島航空基地

三航空艦隊口・根

大海參一部・聯合艦隊口・父根



機密第〇二一一二〇三番電 三分ノ二

戰訓所見 其ノ五

一待機位置ヨリ陣地ニ就ク時機ハ敵ノ陣前來攻ヲ豫期シ前夜未明迄ヲ適當トス晝間ノ兵力移動ハ被害アルノミナラス陣地ヲ暴露ス會戰陣ノモノニシテ一般ニ砲爆撃ニ萎縮陣地ニ就ク時機ヲ逸スルモノアリ「たごつば」ノ深サ一米七〇應程度ニ部隊及特殊標的ニ對スル遮蔽ヲ充分ニシ面式ニ長クシタル場合終日熾烈ナル砲爆撃ヲ受ケタルモノ二箇中隊ヨリ出タル損害僅ニ負傷一名ナリ

通一〇八五 呂一Bケ四、七二六〇EC 硫空基地 加藤(新井) 一〇八二 B 木空基地

20. 3. 34

二、榴包シテ數日ヲ經過タル肉攻用爆藥ガ吸濕ノ爲不發スルコトアル
ヲ以テ手榴彈ヲ燒着點火ト同時ニ手榴彈ヲモ發火スルヲ適當トス
尙地雷モ亦同様ナリ。

一、電信線註 本電三分ノ三未着

三 二 受信 〇一〇二五〇
三 二 〇二〇〇 電 〇二二三三 作訓
至 急 横 嶺・? 硫黄島航空基地



大海參一部・聯合艦隊口・父根

機密第〇二一二〇三番電 三分ノ三

三敵ハ五〇乃至六〇名ノ内ニ乃至三名ノ火焰手ヲ有シ其ノ有効射程
三〇乃至四〇米ナルモノノ如シ敵ノ近接セルヲ待チ第一ニ火焰手
ヲ射撃セシムルヲ要ス尙敵モ有効射程ハ約一〇〇米ナリ。

（電信課註 本電三分ノ二ニ既配布）

通一二九三 呂一Bケ四（五一〇〇K）父通 福光（林部）

20. 3. 3-

魚



三三 受信〇〇七五五 譯了〇九四〇 自電〇一二九三 作概〇
譯始〇八二七 至電〇一二九五

七基地航空部隊戰關概報着信處所 硫黃島空地

機密第〇二二三二七番電三分ノ一

二空襲部隊戰關概報第一八六號(三月二日)

一二日一八〇〇頃ノ戰線ハ南波止場上海軍司令部跡二段岩東方二〇〇米硫
黃神社ノ北二〇〇米高地眼鏡岩一文字山及西部藩ノ線ニシテ一部ハ第三
飛行場北部(古山機銃砲臺方面戰車四步兵約三〇〇名三軒家照空隊方面
約三〇〇)ニ侵入セリ我ハ之ニ對シ猛反擊中第三飛行場ノ敵ニ對シ今夜
夜襲ヲ決行ス

二段岩守備部隊ハ寡兵克ク奮闘中ナリシキ一〇〇〇以後連絡ナシ

通一五〇二
通一五〇二
通一五〇二

呂一日ケ四(七二六〇K) 硫黃島空地

廣田(イホ原)
鳥居
水谷

20. 3. 4.

Handwritten scribbles

三海軍司令部地區隘ハ一日一八〇〇以終總員陣地ニ就ケリ

四敵ノ砲爆依然猛烈ニシテ本日戰艦ノ射撃ニ依リ司令部受信所ハ破壊セ

ラレタリ

五戰果

① 砲撃ニ依ル人員殺傷六〇〇戰車^格二機銃破壊二其ノ他調査中

六敵飛行場作業員中ニ獨逸人アリ黒兵使用ト共ニ宣傳謀略上利用ノ價値アリト認ム。

11/15

休

三三 受信 開始 一四〇〇〇 如譯了 一二〇〇 電 〇一九五六 作 概 〇

二七 航空 戦 艦

大海參一部・横鎮・三航空艦隊P・父島根P

機密 等 〇三一〇四五 番 電 二分ノ一

軍ホテ激勵ノ辭ヲ悉ウシ感激ニ堪ヘズ誓ツテ背旨ノ如ク本島死守ノ重任ヲ全ウシテ期ス然レドモ陣地日ニ狭ク人員火器日ニ竭ス麾下各部隊所在陸軍部隊ハ全般ニ目リ勇戦奮闘中ナルモ連絡概ネ困難ノ状態ニ在

一 電信課註 本覽二分ノ二未着

一 東通註 問合ヒノタメ興延

通 一六三〇 呂一Bケ四一 R (硫黄島航空基地 今村(木下)

20. 3. 5.

野田 孝 研

通 一六三八 呂一Bケ四(七二六)KG(蟹ヶ谷 田中(細川)

通報 小篠原兵團長
 殊ニ我が海軍司令部ハ敵日京敵猛攻ノ焦點ニシテ其ノ推移ニ依リテ
 或ハ兵團ト合シ後圖ニ全力ヲ盡サントス以上戰勢ノ大觀ヲ述ベ以テ
 實電ニ答ヘ併セテ將兵一同飽ク迄醜敵ヲ殲滅ノ闘魂ニ燃進ツツ皇國軍
 人ノ本領ヲ發揮シツツアルヲ報告セントス。

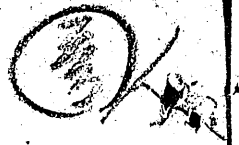
(電信課註 本電二分ノ一未着)

大海軍一部・三航空艦隊P・横領・父根P
 密第〇三一〇五番電 二分ノ二

局長					
A		L			
B	福	K			
E		I			
J		C			
G					
F		D			

二五 〇一七五一 作標〇
 二七 航 戰 P

20. 3. 4
 2-7



作戰緊急

三四 受信 始 一〇〇三〇 譯 了 一〇四〇 電 〇一八八四 作 概 〇



硫黄島航空基地

機密第〇四〇七二八番電

發 三 A F 長官

敵硫黄島ニ來攻以來晝夜間斷ナキ砲爆撃ノ下ニ舉島勇戰敢闘飽クナキ
敵ニ抗シ寡兵ヨク戰機ヲ把握シ適切ナル戰闘指導ト隨處ニ發揮セル肉
攻精神ノ發露トニヨリ屢々敵ニ痛烈ナル打撃ヲ與ヘ多大ノ戰果ヲ擧ゲ
ツツアルハ本職ノ最モ感激措ク能ハザル所ニシテ司令官以下諸官ノ沈
着深謀ニ依リ當空襲部隊ノ戰果ニ一層ノ光輝ヲ加エ得タルハ本職ノ深
ク感謝スルトコロナリ之ニ諸官ノ一層ノ奮闘ヲ祈ル。

通二一九五

(七二六〇 KC) カニケヤ 清水 (小野 田)

20. 3. 5.

4690

天 航

三五
受信一四三三
譯始一四一二
譯丁一四二三
電〇二四一三
航作概本〇

緊急



七聯合基地航空部隊戰鬪概報着信艦所
六艦隊P

機密第〇五一二〇六番電

七FGB電令作等七八號

七五二空司令の攻撃第七〇四飛行隊陸攻約一二機ヲ以テ明六日未明
硫黃島附近敵艦船ニ對シ機雷攻撃一部爆撃ヲ實施セシムベシ。

通二七七一 於十四 日 木更津

宮崎(増田)

20. 3. 6.

緊 急

三五
受信一五四五〇
譯始一五〇五〇

了 一五二三
電 〇二四二六

航作
本〇

木更津航空基地



硫黃島關東方面基地間飛行機通報着信 監所

機密第〇五一四〇二番電

發 七五二空司令

七 F G B 電令作第七八號ニ依ル硫黃島附近敵艦船攻撃ヲ左ニ依リ

實施ス

一 發進時刻六 〇〇〇

二 父島附近通過時刻〇四〇〇頃

三 參加機數陸攻十機(機雷)二機(爆裝)

四 父島列島ヲ確認進撃

五 使用電波五二九〇(五三三五)呼出符號丙。

通二八〇一 於一四(七二六〇)七 F G B 木更津空 望月(杉本)

20. 3. 6

220

作

三五 受信二〇五八〇 譯了二一二三 電〇二九二〇 作 概

作戰緊急

硫黃島航空基地

(通報表示) 東京通信隊。航空基地。橫須賀通信隊。

機密第〇五一八三〇番電

發 玉名山陸戰部隊

宛 軍令部 橫領長官 三航空艦隊長官

玉名山北地區陸戰部隊健在。三日以降五日一八〇〇迄玉名山正面ニ於テ收メタル戰果一陸軍ヲ含ム。次ノ如シ戰車擊破四(内炎上一) 迫撃砲破壞。二人員殺傷五五〇名以上機銃破壞一。

(東通註)

一聯合艦隊通報表示済

二暗號部要務不良ニヨリ配布遲延(速配スミ)

通二九五六 於一四(三六三〇KG) 硫黃島 清水(領出)

20. 3. 7.

天
人

三 五 受信二二三〇〇
譯始二三三〇〇
譯了六〇〇二〇 電〇二五九六
作概〇

作戰緊急



木更津航空基地

(通報表示) 東京通信隊



硫黄島航空基地

機密第〇五二二〇〇番電

發 硫黄島基地

宛 三A F航空基地

一 南海岸砂濱ニハ物資山積シアリ

二 第一基地ハ擴張工事中車輛一〇〇數十輛小型機多數アリ

三 摺鉢山ニハ宿營地有リ

四 海上ノ艦船狀況不明。

頁三〇四〇 於一四(五一〇〇KC) 四特、父通 富田(言) 田()

20. 3. 6

2 2 3

通三二七七 多四七 (一〇二〇〇KC) 父通 鈴木 (小野 田)

優勢ナル敵ノ猛攻ヲ受ケオルモ海軍司令部南空硫黄島管本部ハ
健在ニシテ指揮旺盛ナリ。

黄硫黄島
傍

木更津航空基地

〇五十二二三五

局長	作戰特別緊急					
一課長	A	B	E	J		
		K	I			
				C		

硫黄島空基地 20地 3.7°

三六受信 一四〇七 譯了 一四二五 竈〇二八四〇 作概〇

三六 受信開始 〇七三〇五 了 〇九二五 電 〇二七二二 三 通

緊急

無線機所用共通符號

二 遠支艦隊 着信 航空機 所

機密 〇五二三〇〇番 二分ノ六二

高情報

一 艦隊機密 〇三〇〇四八番電

硫黄島及南西諸島方面行動中ノ有力部隊ノ指向ハ其ノ後ノ通信
狀況「ガミサ」及硫黄島方面有力指揮官トノ關係漸次緊急化シ
アルニ鑑ミ硫黄島方面ニアルモノト認ム

三三 一〇八 呂一 〇 十八 (九一四五) 高二 放 廣田・等原(木下)

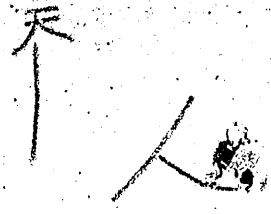
20. 3. 7

ニ、左記諸事象ハ敵機動部隊ノ九州及南西諸島方面ニ對スル指向ヲ示唆スリ何レモ注目ノ要アリ

(一) 硫黄島方面哨戒機(二月下旬進出)ノ倍加増援並ニ索敵機報告電(キン)ハ一日及四日「ガム」ヨリ一般更ニ「アドミラルテ」ヨリ比島方面航空部隊一般宛轉送セラレタリ

(二) 比島方面所在艦所(一)時刻帶使用(ヨリ機動部隊外不詳一艦所ニ對シ更ニ三日「ガム」ハ機動部隊宛一時刻帶ノキウ)各一通送信アリ

(三) 四日「リンガエン」所屬哨戒機ノ報告電(キン)ハ不明艦所ヨリ機動部隊外有力一艦所ニ轉電セラレアリ



傍

木更津航空基地

硫黄島航空基地

機密第〇五二二三三五番電

20. 3. 6.

三 六 受信〇〇一四八 譯了〇二三五 電〇二六三六 航作 機本

發 陸戰部隊指揮官

南揚搭場ハスリバチ山麓ニ至ル南海岸一帯ニ物資(彈藥 燃料 糧秣) 山積シアリ又ウグイス部落ニハ露天ノバク舎多數アリ敵ハ該附近ニ 侵入シアリテ本夜之ガ殲滅ヲ企圖シアリ速ニ小型爆彈多數(燒夷彈 混用)ヲ以テスル後方爆撃(黎明)絶好機ナリト認ム。

通三〇七五 於一四一三六三〇K〇)カニヶ谷 宮崎(新井)

三六 受信一四五〇

電〇三二七三 作概〇

作戰緊急

共

符



佐鎮・吳鎮。阪警・三、四各海上護衛隊
 吳防戰隊。九五航空隊
 大海參一部。聯合艦隊。五航空艦隊
 横鎮。一護衛艦隊

機密第〇六一三四八番電

發 GEB 參謀長

敵機動部隊ノ動靜依然不明ナルモ左記狀況ニ鑑ミ内海及九州南西諸島方面當分警戒ノ要アリ

一、最近硫黃島方面ヨリスル飛行艇南方哨戒線ヲ攪亂シツツアリテ本六

日〇九三〇北緯三一度東經一三五度附近ノ哨戒艇二隻ハ敵大型機ト

交戰中

二、敵大型機ハ三日四國南岸九州東岸ヨリ内海四日沖繩五日南大東島方

面ヲ偵察セリ

通七四四 於一四

(小澤) (一)

20. 3. 8

Handwritten signature or initials

三 最近ニ於テハ敵艦ノ出現情況 東經一三八度線以西九州南部ヨリ南

西諸島ノ海面ニ多シ

四 敵機動部隊ハ依然電波管制嚴重ニシテ歸投ヲ示セズル通信狀況ナシ

229

三六 受信 二二二〇九 丁二一三〇 電〇三〇〇七 航作 概本 〇
作戰緊急



● 木更津航空基地

機密第〇六一六三〇番電

宛 三航艦長官・一三一空・二五二空司令

搭乗員整備員共士氣益々旺盛日夜取闘シツツアリ・

送三四七八 於一四() 日高(福田)

20. 3. 7-

三六 受信一九三二 譯了二〇二五 電〇二九七九 作 概〇

緊急

總無線艦所用共通符號



第一潜水部隊 (先遣部隊)

機密第〇六一八二三番電

先遣部隊綜合情報第三〇號

硫黄島五日二〇三〇以後連絡アリ優勢ナル敵ノ攻撃ヲ受ケツツアルモ
海軍司令部健在激戦中所藉暗號書キシ五 アタ七四飛行場ニハ小型機多
數着陸シアリ。

通三四〇九 呂一五七五 (五二九五)(六四) 半澤 (福田)

20. 3. 7.

Handwritten signature or initials.

0190

人

三六受信 三三二五 譯了 二二二八 電〇三〇一九 航作 概本〇

緊急

木更津航空基地



硫黄島關東方面基地間飛行機通報着信箇所

〇六一九三七

陸軍重爆一機明七日〇三三〇 五二基地ニ物糧投下ノ豫定。

通三四九〇 多七四(五一〇〇KC) 横 仙波(小野田)

20. 3. 7-

Handwritten signature and number 282

人

三六
作戰緊急

受信開始二〇五〇〇

丁二二三五

電〇三〇八九

△作
部概〇

總無線機所用共通符號



先遣部隊尸・吳

海軍省・五航空艦隊尸・伊四四・伊三六・伊五八

機密第〇六一九〇六番電

聯合艦隊電令作 第五四二號先遣部隊潜水艦ニヨル硫黃島方面ノ作戰ヲ
中止先遣部隊指揮官ハ同方面行動中ノ潜水艦一隻ヲシテ成ルベク速ニ沖
ノ島島附近ニ進出待機ノ上第二次丹作戰ニ協力セシメ爾餘ノ潜水艦ハ内
地歸投ノ上次期作戰準備(回天ヲ搭載)ヲ急速實施セシムベシ第二次丹
作戰協力要領ハ別ニ指示ス。

海三四三六 呂一Bケ五 (B) (C F 七 西河 (福 田)

20. 3. 7-

Handwritten scribbles at the bottom of the page.